

◎大船駅西口整備の経費

西口整備事業

大船駅周辺整備課

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

市街地整備:まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 大船駅西口駅前の円滑な交通機能の確保、市民等の利便性と安全性の向上を図るため。

効果 ①歩行者と車両分離による安全性と快適性を確保する②バス停の集約化を図る③駅前の渋滞解消を図る。

【事業の内容】

(1) 西口整備事業

- ・「鎌倉市域における整備計画」に基づき、ペDESTリアンデッキ等の整備工事を発注した。併せて駅前広場の拡張予定地であるJR用地について、取得交渉がまとまったため、基本協定を締結し、それに基づく建物等移転補償の前払金を執行した。
- ・バス停の集約化と駐輪場整備を目的とする公共広場整備事業について、基本設計委託を行った。また、ペDESTリアンデッキ等の整備と同時期の完成に向け、詳細設計委託を前倒し発注したが、年度内完了が困難なため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・西口利用者の利便性、快適性を確保するため、エレベーター、トイレ等の維持管理を行った。

(2) 西口整備運営事業

- ・大船駅西口新乗降口の維持管理を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

大船駅西口整備事業(大船駅周辺整備構想)(5-2-1-⑨)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
53,351	197,856	182,521	9,621	5,714
主な支出内訳				
・西口整備事業				
エレベーター等光熱水費				996
エレベーター等維持修繕料				162
エレベーター電話料				37
公衆トイレ清掃業務委託料				499
エレベーター及び階段下ポケットパーク清掃業務委託料				249
エレベーター設備保守管理業務委託料				605
エレベーター等監視・警備業務委託料				130
大船駅西口公共広場基本設計委託料				2,467
大船駅西口整備事業用地価格の意見書作成業務委託料				94
大船駅西口整備事業用地確定測量業務委託料				223
大船駅西口整備事業用地不動産鑑定評価業務委託料				499
大船駅西口公共広場詳細設計業務委託料(翌年度への繰越明許費)				3,000
大船駅西口ペDESTリアンデッキ等整備工事請負費(継続事業・20年度分)				50,000
大船駅西口整備事業用地建物撤去設計負担金				10,050
大船駅西口整備事業用地建物等補償金				112,977

・ 西口整備運営事業	
一般文具等消耗品費	169
カラーコピー等印刷製本費	46
通路階段等維持修繕料	0
通路階段清掃業務委託料	318

主な特定財源

・ 国県支出金	64,025
・ 地方債	19,400

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 拠点-03 西口整備事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	0942 西口整備運営事業					
		1117 西口整備事業					
主管課	大船駅周辺整備課	関連課	各部各課				
分野名	市街地整備						
目標 (目標値)	都市基盤の整備により、大船駅西口利用者の利便性と安全性の向上を図る。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	182,521千円	33,218千円	206,824千円	・18年度の主な経費 西口駅前鎌倉市土地 開発公社用地の取得 に係る経費 ・20年度の主な経費 西口JR用地の建物等 補償に係る経費		
	(国・県)	64,025千円	29,537千円	4,732千円			
	(負担金等)						
	(一般財源)	118,496千円	3,681千円	202,092千円			
	人員配置数	2.5人	2.5人	2.5人			
	人件費	25,474千円	23,155千円	23,158千円			
協働の パートナー		大船駅西口駅前整備 計画会議	大船駅西口駅前整備 推進会議				
事務事業 運営経費	総事業費	207,995千円	56,373千円	229,982千円			
	市民1人当 りの経費	1,179円	320円	1,314円			
	対象者1人 当りの経費						
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
鎌倉市域での整備計画 の事業進捗	○	目標値	詳細設計	整備	整備	整備完了	事業成果等検証 (24年度)
		実績値	詳細設計	工事発注			
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
事業の周知	◎	目標値	市民意見公募、 HP更新	HP更新	HP更新 工事等説明会	HP更新	
		実績値	市民意見公募、地元 説明会、HP更新	HP更新、 自治会等説明会			
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
駅利用者の利便性 (満足度)	○	目標値	32%	33%	33%	50%	70%
		実績値	39.1%	37.4%			
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 大船駅西口地区の横浜・鎌倉両市一体整備計画(案)について、両市で協議を進めてきたが、社会経済状況の変化や整備計画区域内での課題等があるため、内容の見直しを含め、引き続き計画を「存続」させることで確認しているが、見直しには時間を要する。 しかしながら、大船駅西口駅前の交通現況の課題を解決するためには、①歩行者と車両の分離による安全性と快適性の確保、②バス停の集約化、③駅前の渋滞解消、について早急な対処が必要である。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 横浜・鎌倉両市一体整備計画(案)については、社会経済状況の変化や整備計画区域内での課題等から早期の実現が困難な状況にある。 そのため、平成17年度に鎌倉市で整理を行った「26の短期的方策」のうち、「実施に向け進めるとした11方策」について、鎌倉市域での整備計画を策定し、事業実施に向けた取り組みを進め、平成22年度末の完成を目指して工事を発注し、あわせてバス停の集約化に伴い、駐輪場整備等、公共広場としての整備計画を進めている。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 横浜・鎌倉両市一体整備計画(案)の「存続」については、両市で確認しているが、今後、一体整備計画(案)についての見直しを含めた検討が必要である。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 横浜・鎌倉両市一体整備計画(案)については、鎌倉市域での大船駅西口整備事業を進めるとともに、その後の整備効果を検証し、一体整備計画(案)の実現化に向け、見直しを含めた取り組みを進める。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	大船駅西口利用者の安全性・利便性の向上を図り、より効率的・効果的な公共サービスを提供するため、鎌倉市域での歩行者デッキの整備・バス停の集約化・交通渋滞解消等について、引き続き、公共広場等整備を含め、積極的な整備に取り組み、平成22年度末の完成を目指す必要がある。				
担当課長氏名:		渡辺 一			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	大船駅西口駅前の交通環境の改善について、鎌倉市域での西口整備事業を積極的に進め、整備後の効果を踏まえながら、「横浜・鎌倉両市一体整備計画」については、見直しを行い、引き続き横浜市とも協議を進め、その中で実現可能な西口整備計画のあり方を検討する必要がある。				
担当部名	拠点整備部	部長名	瀧澤 由人		